

経営発達支援計画成果検証シート（津商工会議所）

評価・検証者 資格氏名	(資格) 三重県中小企業診断協会 会長 中小企業診断士 (氏名) 井上 俊一						
■評価対象期間	平成27年 4月 1日～ 平成28年 3月31日						
■評価年月日	平成28年 5月26日						
■評価項目	◎数値項目						
	実施状況					成果検証	
	項目	本年度 目標値(A)	4～9月期 実績値	10～3月期 実績値	年間 計(B)	達成率 (B)/(A)	
	経営計画指導延べ件数(カルテ)	300	213	138	351	117%	○
	経営計画支援事業者数	100	88	62	151	151%	○
	①経営向上計画作成支援事業者数	20	4	16	20	100%	○
	うち認定数	10	2	8	10	100%	
	②経営革新計画支援事業者数	5	0	1	1	20%	△
	うち承認数	2	0	1	1	50%	
	③創業計画策定支援人数	20	13	7	20	100%	○
	うち創業数	5	6	5	11	220%	
	④持続化補助金支援事業者数	30	51	12	63	210%	○
	うち採択数	15	44	0	44	293%	
	⑤経営分析実施事業者数	25	18	24	42	168%	○
	⑥その他事業計画支援数	設定なし	2	3	5	—	○
	⑦経営発達支援融資制度斡旋件数	2	0	0	0	0%	×
	<p>※②経営革新計画支援事業者数については、類似する経営計画である三重県版経営向上計画の方が小規模事業者にとってメリット(ステップ1以上の認定でマル経金利の軽減、ステップ2以上の認定で無料専門家派遣(3回程度)、ステップ3の認定で三重県コミュニティファンドの一次審査の免除及びみえ経営向上支援資金の融資対象)が大きく当商工会議所としては、三重県版経営向上計画を優先して提案及び支援を行った。</p> <p>※⑦経営発達支援融資制度斡旋件数については、日本政策金融公庫を窓口とする小企業を対象とした融資制度ではあるが、同公庫のマル経資金のように無担保無保証人の制度ではないため、無担保無保証人の制度であるマル経資金(7件)及び三重県の小規模事業資金(1件)を提案した。</p>						
◎事業項目	実施状況					成果検証	
	1. 経営発達支援事業の内容					○	
	I 経営状況の分析に関すること 1) 経営分析シート等を活用した経営分析 ・経営分析シートを活用し、5件の分析を行い三重県版経営向上計画の認定に3件つなげた。 2) 財務分析の実施 ・金融相談等の案件については、中小機構の経営自己診断システムにより、37件の財務分析を実施し、小規模事業者の課題把握に努めた。 3) 専門家による経営診断 ・専門家派遣により、経営診断を行った上で、経営改善計画の作成支援を3件実施。						
	II 事業計画策定・実施支援に関すること					○	
	1) 経営計画策定支援事業 ①経営指導員による経営向上計画・経営革新計画の作成支援 ・三重県版経営向上計画については、ステップ1を1件、ステップ2を7件、ステップ3については2件と合計10件の認定を受けた。経営革新については、1件の承認。 ②経営計画策定支援セミナー等の集団講習会及び個別相談会を開催 ・経営計画策定支援セミナーと個別相談会を開催し、延108名が参加。 ③各種補助金の申請に必要な事業計画の策定支援。 ・持続化補助金の申請に係る事業計画策定支援数63件、採択44件。 2) 融資制度の活用にあたっての事業計画の策定支援 ・小規模事業者経営改善資金(マル経)7件 ・小規模事業資金1件						

	<ul style="list-style-type: none"> ・経営力強化資金 創業 4 件、経営革新 1 件 ・経営発達支援融資制度の実績は無し。 <p>3) 策定した計画の実施支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営指導員による販路開拓プロモーション支援を 2 企業に対して実施し、延 47 件のマスコミに対して情報提供を実施。 ・専門家派遣により、SNS 等を活用した販促支援を 3 件実施、ミラサポにより、ホームページ作成支援のため専門家派遣を 5 件実施。 <p>4) 創業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫他と共催で創業セミナーを 1 回実施。 「つ創業塾～実践編～」を津市商工会及び津北商工会と共催で開催し、5 日間で延 66 人の参加 ・産業競争力支援法に基づく特定創業支援事業証明書を 3 件発行。 創業計画策定支援数 20 人で創業数 11 件の実績。 	
	<p>Ⅲ市場調査支援・経済動向の把握に関すること</p> <p>1) 地域の経済動向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の経済動向を把握するため、景況調査を実施し「津市の景況」として取り纏めた。また、県内会議所の結果を取り纏めた「三重の景況」はプレス発表を実施。 <p>2) 小規模事業者の実態把握を行うための調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 2 回の景況調査を行い「津地区の景況調査」にまとめた。注目すべき結果は、小規模事業者については、四分の一が経営計画を立てており、経営計画を立てている事業所の業況については、「良い・やや良い」と回答した事業所が 4 2 %あり、一方経営計画を立てていない事業所では「良い・やや良い」と回答した事業所は 2 0 %と 2 2 ポイントの差が出る結果となり、経営計画の大切さが浮き彫りになった。 <p>3) 需要動向に関する情報収集・提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要動向支援については経営指導員研修において、日経テレコンなどの活用方法について修得し今後の活用の準備を図った。 	○
	<p>Ⅳ新たな需要の開拓に寄与する事業の実施</p> <p>1) 津商工会議所ビジネス交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津商工会議所ビジネス交流会を開催し、47 事業所（内小規模事業者 23 事業所）60 名（内小規模事業者 27 名）の参加。 <p>2) 小規模持続化補助金を活用した販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模持続化補助金の支援事業者数 63 件、採択事業者 44 件を中心に販路開拓支援を実施。 <p>3) IT を活用した取り組み（ビジネスモール等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津商工会議所HP 支援事例による情報発信延 24 件 ・ビジネスモール登録企業数 12 件 <p>4) マスコミ等の活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画認定企業及び持続化補助金採択事業者 2 社について津市記者クラブ及び県政記者クラブへの情報提供を 2 回実施。 <p>5) 地域イベント等への出店による販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津まつりの YEG 祭の情報提供により、7 事業所が出店。 <p>6) 展示会などへの情報提供及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や販売促進につながる情報をHP により情報発信。 ・販促に関する専門家派遣を 2 事業所に対して 4 件実施。 	○
	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み</p> <p>1) 関係団体との連携による各種イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津市をはじめとした関係諸団体と連携して「津まつり」「高虎楽座」等を開催し、地域の活性化を図った。 <p>2) 地元商店街等との連携による各種支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商店街組織等と連携した空き店舗対策やイベント実施の他、第 3 セクターの(株)まちづくり津夢時風を通じた地域活性化への取り組みを行った。 <p>3) 地元高等学校等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元高等学校と連携したインターンシップ事業や高校生による地元商店のweb ページ作成支援事業を通じて、地域活性化と商店街活性化を図った。 <p>4) 事業者の経営意欲向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内企業の経営意欲を高め、地域経済の活性化を図るため、津商工会議所優良会員企業表彰制度により、2 社を表彰した。 	

■評価コメント

当会議所の平成 27 年度の経営発達支援事業は、平成 27 年 7 月認定後の着手となったにも拘わらず、担当スタッフの努力により、総じて高いレベルで着地している。

このことは、当会議所が平成 19 年度から実施してきた「伴走型の経営支援」の定着と、平成 26 年 4 月の「三重県中小企業・小規模企業振興条例の施行」もその背景にあったようである。

<数値項目>

平成 27 年度の達成状況をみると、「経営計画指導延べ件数」が 351 件で 117%、「経営計画支援事業者数」が 151 件で 151%となっており、極めて良好な結果となった。

「経営計画支援事業者数」の内訳をみると、④持続化補助金支援事業者数が 63 先で 210%、⑤経営分析実施事業者数が 42 先で 168%、と達成率が極めて高く、全体の目標達成に大きく貢献した。また、③創業計画策定支援人数が 20 人で 100%、①経営向上計画作成支援事業者数が 20 件で 100%、と目標はクリアしている。

一方、②経営革新計画支援事業者数が 1 件で 20%、⑦経営発達支援融資制度斡旋件数が 0 件で 0%であり、今後課題を残した。

「経営革新計画支援」では新規性が要求されるため、掘り起こしには時間がかかると思われるが、「経営計画指導延べ件数」や「経営計画支援事業者数」の多さからして、今後期待したい。また、「経営発達支援融資制度斡旋」では、他の融資制度との条件面での優位性が低い等の問題点もあるようですが、ケースバイケースで粘り強く取り組んで下さい。

<事業項目>

I 経営状況の分析に関すること

独自様式の「経営分析シート」を使用して 5 件の分析を行い、3 件の三重県経営向上計画の認定に結び付けたのは大いに評価できる。また、中小機構の「経営自己診断システム」の利用が 37 件と多いが、小規模事業者の課題把握の出発点となることから、今後他の目標件数に反映されてくるものと期待される。

II 事業計画策定・実施支援に関すること

持続化補助金申請支援 63 件、うち採択 44 件は特筆に値するもので、各スタッフの事業者との密着度の高さを示すものである。また、三重県版経営向上計画・経営革新計画が延べ 11 件の承認に至ったこと、創業計画策定支援数 20 人で創業数 11 件の実績も大いに評価できる。また、延 47 件のマスコミへの情報提供も中小・小規模事業者自身では手掛けにくいことであり、意義深いことと思われる。

III 市場調査支援・経済動向の把握に関すること

「津市の景況」、「三重の景況」の調査は、他の機関ができることではないので、今後も継続して行って下さい。「津地区の景況調査」を通じ、「小規模事業者が経営計画を立てることの大切さ」を調査の係数から再認識されたようですが、意を強くされ、本件業務のさらなる推進をお願いします。

IV 新たな需要の開拓に寄与する事業の実施

「津商工会議所ビジネス交流会」、「小規模持続化補助金」、「ビジネスモール」、「YEG 祭の情報提供」等を通じた販路開拓・拡大支援を、中小・小規模事業者にとって実効性のあるものにしようと努力されている点は評価できる。今後とも、様々な角度から「中小・小規模事業者の事業や商品の見える化」を支援し、その成果を上げて下さい。

※評価検証欄には○・△・×のいずれかを記入の上、評価コメント欄に評価理由等を記述して下さい。